

おうしゅう市議会だより

No.79

12月
定例会

定例会後
年4回発行

発行日/令和8年2月12日 発行/奥州市議会

主な内容

新年のごあいさつ	2
地方議会活性化シンポジウム	3
ラジオの中の人に聴く	4・5
一般質問	9



高校生から Message to the future. ひとこと

質問事項

- 1 将来の夢（職業など）とその理由を教えてください。
- 2 奥州市の一番好きな場所とその理由を教えてください。
- 3 あなたの考える理想の奥州市。「こういうまちにしたい！してほしい！」という思いをぜひ教えてください。

- 1 自分のお店を開くことです。
料理を通して人を笑顔にすることにやりがいを感じ、自分のお店をもって多くの人に届けたいと思ったからです。
- 2 水沢公園周辺です。
春には桜が美しく、正月には初詣で賑わうなど、季節ごとに魅力があり心が落ち着く場所だからです。
- 3 若い世代が集まれる場所や交流の機会を増やし、学生が地域に関わりやすい“活気あふれるまち”にしたいです。
また、誰もが参加できる取り組みや発信の場を広げ、誇れる奥州市にしたいです。

- 1 和牛生産者になることです。
愛情を込めて牛を育て、いわて牛や江刺牛を世界に誇れるブランドにしていきたいからです。
- 2 種山高原です。
宮沢賢治ゆかりの地であり、眺望や放牧風景、高原の気候に心が落ち着く場所だからです。
- 3 農業の魅力を発信し続け、人口が多く活気あるまち。農家が広大な農地を生かし、農家同士が交流しながら自由に農業を営んでいるまち。農家に優しく、担い手不足がなく、経営が安定する環境を整え、食にやさしいまちです。

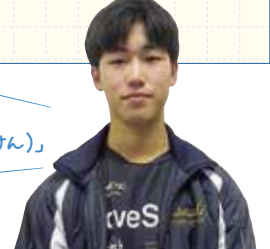
さとう るな
佐藤 瑠菜さん
(水沢第一高等学校 調理科2年)

好きな食べ物は
フルーツ全般！



おいかわ りゅうき
及川 龍輝さん
(水沢農業高等学校 農業科学科2年)

座右の銘は
「磨穿鉄硯(ませんてっけん)」



表紙紹介

選挙です！投票に行きましょう！

今年は選挙の年。奥州市では投票所で、おうしゅうたろうのイラスト入り投票済証を受け取ることができます。森の仲間たちもお手伝い。未来のためにも必ず投票に行きましょう！

表紙イラストのスマホ待ち受け画像をダウンロードできます。詳しくは奥州市議会ホームページへ。



あ と が き

市議会だよりの編集を担当し、合計16誌を作成しました。思い出深いのは、市内誘致企業と新米パパ・ママへのインタビューです。市民の声を文字にするなど、多方面で貴重な経験をさせていただいたことに、改めて感謝いたします。(門脇 芳裕)

議会広聴広報委員会

【委員長】 瀬川 貞清
【委員】 佐藤 美雪 小野 優
【副委員長】 佐々木 友美子 門脇 芳裕 飯坂 一也
佐藤 正典 高橋 善行 中西 秀俊

奥州市議会 ホームページ

奥州市議会

検索



FMラジオ「電波に乗せて！奥州市議会」放送中！

奥州エフエム (77.8MHz)
隔週木曜日 15:35 頃～15 分程度
(再放送 翌週火曜日 18:30 頃～)



音訳・点訳版議会だよりを希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

奥州市議会公式
Facebook



奥州市議会公式
X(旧Twitter)



奥州市議会公式
Instagram



次の定例会は6月5日(金)の開会です。



おうしゅう市議会だより

No.79
令和8年2月12日

発行/奥州市議会(岩手県奥州市水沢大手町一丁目1番地)
電話/0197-34-1575(直) 編集/議会広聴広報委員会
印刷/川口印刷工業株式会社

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年を健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は子どもの議会活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、記録的な猛暑や水不足、さらにはクマの出没が例年を上回るなど、市民生活に直結する出来事が相次ぎました。加えて、人口減少をはじめ、物価・エネルギー価格の高騰や担い手不足など、地域を取り巻く課題は一層複雑さを増しております。こうした中、暮らしの安心・安全の確保はもちろん、将来を見据えた取り組みが重要となっており、市の取り組みを監視・検証する機能と、市民の声を踏まえた政策提言機能という二つの機能を担う議会の役割と責任は、これまで以上に重いものと認識しております。

そこで、今任期におきましては、政策提言の充実や議員間討議の制度化、生成AIの活用など、議会機能の強化と改革に継続して取り組んでまいりました。とりわけ、

合意形成に向けた対話による論点整理や方策検討の議論を重ねるとともに、説明責任として意思決定に至る過程を分かりやすく伝えることにも努めてまいりました。これらの取り組みが全国的にも一定の評価をいただくことができたのも、市民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

本年は、現議会の任期を締めくくる年でもあります。この間の取り組みを丁寧検証し、課題を整理したうえで、次期へと確実につなげていくことが、現議会に課された責務であると考えております。残された任期は限られておりますが、引き続き、住民福祉の向上と、市民に信頼され、存在感のある議会を目指し、「チーム奥州市議会」として一丸となり取り組んでまいります。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が幸多き希望に満ちた一年となりますよう、議員一同心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

奥州市議会 議長 菅原由和



11月13日

地方議会活性化 シンポジウム 2025

奥州市議会菅原議長
パネリストとして参加

総務省では、社会の変化を踏まえたテーマ設定のもと、各議会における取組事例の紹介や地方議会の将来像について議論等を行う「地方議会活性化シンポジウム」を平成25年度から毎年開催しています。今年度のシンポジウムでは、地方議会議員のなり手不足が深刻化する中で、多様な人材が参画し住民に開かれた議会を実現するために、女性をはじめこれまで必ずしも参画しやすかった層の参画を促進する取り組みや住民が議会に関心を持つようするための取り組みを更に進める必要、という観点からパネルディスカッションが開催され、奥州市議会菅原由和議長も事例紹介者・パネリストとして参加



第1部 事例紹介 「奥州市議会改革の歩み」

しました。他に長野県宮田村議会の前議長（現村長）の天野早人氏、石川県議会議長の安居知世氏なども参加しました。

第1部の事例紹介において、菅原議長はこれまでの奥州市議会の改革の歩みの概要を紹介。今任期の議長就任に当たって掲げた議長マニフェストに始まり、議会ICT化の推進や見える化の取り組み、政策立案や政策提言サイクル、議員間討議の制度化に加えて、今シンポジウムのメインテーマである議員のなり手不足解消に向けた奥州市議会の研究・調査についても紹介しました。

第2部 パネルディスカッション 菅原議長へ多数の質問

第2部のパネルディスカッションでは、「誰もが参画できる議会を目指して〜これからの議会の姿とは〜」をテーマとして、コーディネーターを駒澤大学名誉教授の大山礼子氏が務め、第1部の事例紹介者の他、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科専任教授の出雲明子氏、関西学院大学経済学部

教授の上村敏之氏がパネリストに加わりました。ディスカッションの冒頭ではコーディネーターの大山氏より、議会への不信や住民との距離感が遠くなってきたと受け止められている現状が述べられました。

菅原議長への質問が多かったのは、政策提言サイクルや情報公開の度合い、ICT化の流れなど、他のパネリストの関心が高いテーマへの取り組みが進んでいるためかもしれません。

この4年間、奥州市議会は様々な場面で注目を集めてきましたが、現状に満足することなく、市民の福利向上という原点に立ち返り、不断の改革を次の任期へとつないでいく姿勢が示されたディスカッションでした。



FMラジオ

「電波に乗せて! 奥州市議会」放送中!

▶ 奥州エフエム (77.8MHz)

▶ 隔週木曜日 15:35 頃～15 分程度
(再放送 翌週火曜日 18:30 頃～)

〈都合により令和8年2月～3月の放送はありません。〉



今回の収録メンバー

電波に乗せて! 奥州市議会



「ラジオの中の人に聴く! 奥州市議会」

平成29年7月から奥州市議会として奥州エフエムを通じてラジオでの情報発信をしています。早いもので放送の開始から8年が経過したこのコーナーでは、議会議中継や議会だよりでは伝えきれない、市議会の仕組みや活動内容、そして議会に対する理解と関心をより深めてもらうため、議会定例会の一般質問の内容、議案の審議結果などを発信してきました。

今回は、「ラジオの中の人に聴く! 奥州市議会」と題して、奥州エフエムのパーソナリティー高橋ゆきえさんとディレクターの及川貴博さんをゲストに、奥州市議会広聴広報委員会の佐々木友美子副委員長と門脇芳裕委員がパーソナリティーを務める形で収録を行いました。

Q いつもとは全く逆の立場での今回の放送ですけれども、率直な今のお2人の気持ちは?

高橋 とても緊張しています。

及川 今まで何百回も収録をしてきましたが、インタビュを受けるのは3度目で、今回も緊張しております。

Q 番組放送開始の8年前の初期の思い出話や苦労話は?

うという志を抱いている子ももしかするといつかかもしれないので、そういった子たちがどうやって奥州市を良くしたいのかというのをちゃんと考えているな、というページだと思いました。
高橋 子どもたちが議会の傍聴に来ているところですね。そういうところをクローズアップすると、やっぱり、お子さん方や保護者の方々が、こういうこともやるんだなっていうのが分かってすごくいいんじゃないかと感じています。

Q 毎回のテーマで特に印象に残っていることは?

及川 奥州市議会がマニフェスト大賞を受賞した話の回がありました。チーム奥州市議会としてとられた賞で、そういった先進的な活動が全国の市町村議会に注目され、視察に来られるので、奥州市としても誇れるものなんだとは思いました。

高橋 やっぱり奥州市LOVEっていう議員さんが多いですね。そういう話題と一緒に楽しくお話ができるのがすごく印象的でした。

Q 市議会についての新しい発見は?

及川 収録前に、いろんなお話をし

平成29年第1回
放送の収録の様子



及川 私が担当になったのは2018年からのので2代目です。一苦労したのは、例えば「請願」「施策」など、普段の生活では使わない言葉やその意味を覚えるのが大変でした。奥州市議会に他の市町村議会が行政視察に来ることが多くなって、奥州市議会は全国から注目されている議会だと、毎回感じています。

Q 視聴者からこの番組に寄せられた具体的な声や反響などは?

高橋 市民の皆さんと直接議員の皆さんがワールド・カフェ方式でやっている懇談会など、こんな活動もしているんだというメッセージはいただいたことがありますね。このコーナーは、奥州市民の皆さんが広く聴いていて、いろんな活動があるんだと



高橋さん

くれるのがすごく印象的です。もつと聞きたいなというのが本音です。例えば農業をやられてる議員は、農業の分野に詳しいですし、福祉に詳しい議員もいらしたり教育に詳しい議員もいらしたり、そういったところがすごく新しい発見でした。

Q 私たち議員のトークを引き出すために心がけているポイントや工夫は?

高橋 皆さん真面目に活動している議員さんだと思うので、分かりやすくどうやって伝えることができるかということですね。やわらかい声でなるべく話し掛けるようにお話ししやすいようにと心がけております。

及川 たまに尺(収録時間の長さ)が足りないときがあるんです。そういったときのためにもっと掘り下げて聞けるんじゃないかなというところを毎回メモしています。

Q 番組制作で特に難しいと感じていることは?

及川 年に数回、奥州市議会を行政視察で訪れる他の議会に出演してもらうことがありますが、その市町村のコミュニティFMで議会番組の放送はさ

感じしている人が多いと思います。

※ワールド・カフェ方式はカフェのようなリラックスした雰囲気の中で少人数が話し合い、世界を旅するように席替えをしながら対話を重ねていく意見交換の手法。

Q この番組に携わる前と後で市議会や市議会議員についてイメージが変わったことは?

及川 議員さんと関わる前は正直、真面目な人が多いんじゃないかなっていう印象を受けていました。ですが収録前にマイクオフの状態では話をするとな面白く、冗談で私たちを笑わせてくれたりするので、逆に身近な存在になりました。

高橋 私も同感ですね。最初は本当にお堅いイメージしかなかったんです。初回の放送の時なんかびくびくしていましたが、お話を進めていく上で、とても親近感のある議員さんが多いんじゃないかと感じております。

Q 市議会特有の取り組みや話題などでこれは面白いなと感じたことは?

及川 ワールド・カフェ方式での市民との懇談会ですね。あとは議会だよりの「高校生からのひとこと」の部分です。今後若い子たちが実際に選挙に行ったりとか、むしろ議員を目指す

れていないからか、とても緊張されていて、どうやってたらその議員さんたちの緊張をほぐせるというのは、いつも考えています。

Q 最後に、今後やってみたいトピックやアイデアは?

高橋 お一人おひとりに、未来の奥州市をどのようにしたいのか、具体的に、じっくり座談会のようなワールド・カフェ方式で伺ってみたいと思います。あるいはそのワールド・カフェをやっているときに、私たちが取材で伺って、録音させてもらうなどそういうようなことをやってみたいですね。

及川 年に1回、年末に近くなつてからでもいいんですけど、会派の代表の方々が集まったら、ワールド・カフェ方式でお茶を飲みながら、にぎやかにワイワイっていうのもありかなと思います。やっぱり議員さんたちの面白い話がマイクオフのときにしか聞けないのは、ちょっともったいないっていう感じなので、そういったところまで放送できたら面白いかなと思います。



及川さん

市政における課題の解決を図る 政策提言書を提出



提言書は、議場において「政策決議提案」として提出され、市長等に対し、その施策の実行を強力に要請しています。政策立案、政策提言等に取り組むに当たり、政策立案等に関するガイドラインを策定し、市民の負託に応えるべく活動を展開しています。

建設環境常任委員会

建設環境常任委員会では、令和6年度より「奥州市のごみ減量施策」に関する調査・研究を進めてきました。

現代社会の急速な変化により、本市の廃棄物行政をめぐる課題も複雑化しています。プラスチックごみや食品ロスの増加、高齢化に伴うごみ出し困難者への対応など、従来の枠組みを超えた新たな施策の必要性が顕在化しています。ごみの有料化に対する取り組みも全国的に拡大しつつあり、この点から見てもごみの減量化にさらに力点を置く必要があると考え、政策提言書を提出したものです。

- 提言1 市民、市民団体、事業者、行政が一体となり、さらなるごみの減量対策に取り組むこと
- 提言2 循環型社会の構築に向けて、環境教育により市民の環境意識の向上を図ること
- 提言3 ごみ減量を進める基盤と制度的な施策を整えること



廣野委員長が市長へ政策提言書を手渡しました

教育厚生常任委員会

教育厚生常任委員会では令和6年度より「さらなる産前産後サービスの充実」について調査を進めてきました。

本市においては、令和4年4月以降分娩できる診療所がなくなり、妊産婦の負担軽減や子育て家庭への支援として産前産後ケア事業を充実させてきました。しかし、市民との対話や行政視察を通じて、産後ケアサービスの日帰り・宿泊ケアの待機日数や出産直後のケア等において改善や見直しの必要性が明らかとなったことから、さらなる産前産後サービスの充実を求め、政策提言書を提出したものです。

- 提言1 産前産後ケアの受入れ体制を拡充し、待機時間を解消すること
- 提言2 母親とその家族に対し、切れ目のない支援体制を確立すること
- 提言3 専門家の育成と拡充を行い、家庭での家事支援や育児支援を充実させること



市長へ政策提言書を手渡す小野寺委員長

令和7年 12月 第4回定例会のあらまし



第4回定例会は令和7年11月28日から12月16日まで開催され、市長からは条例の制定、一部改正及び廃止、財産の取得及び処分、令和7年度一般会計、特別会計及び事業会計の各補正予算など計26件の議案等が提出され（追加議案を含む）、いずれも原案のとおり可決しました。

議案審議



奥州市学校教育施設整備基金条例の制定

市が設置する学校の施設整備に要する経費の財源に充てるため、基金を設置しようとするもの

（施行期日 公布の日）

奥州市営浄化槽条例の一部改正

国が定める循環型社会形成推進交付金交付取扱要領の一部改正により当該交付金の算定に係る基準額が物価等の高騰を受けて一部増額することを契機とし、浄化槽の利用者に対して賦課する分担金の算定に係る基準額をこれに準ずることとするため、本件条例を一

部改正しようとするもの

（施行期日 令和8年4月1日）

俳句の庵条例の廃止

俳句に係る活動を通じて市内の芸術文化の振興に資するため設置された俳句の庵は、設置目的に沿う施設の利用がなくなったため、これを廃止しようとするもの

（施行期日 令和8年4月1日）

財産の取得に関し議決を求めること

令和8年度2学期から学校給食の提供を開始する予定である（仮称）奥州市学校給食センターで使用する、消耗品及び備品を購入しようとするもの

財産の処分に關し議決を求めること

旧奥州市土地開発公社土地の活用処分に係る基本方針に基づき、土地の売却を進めるとともに、自主財源の確保に寄与するため、これを売却しようとするもの

令和7年度奥州市一般会計補正予算（第8号）

自立支援給付等事業、子ども・子育て支援給付事業などに所要の措置をするもの

令和7年度奥州市病院事業会計補正予算（第4号）

病床削減に伴う業務の予定量の補正、患者数の減少及び職員の異動・退職に伴う人件費の変動等による、収益的収支及び資本的収支の補正、債務負担行為の補正等を行うもの

奥州市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正

岩手県職員の給与制度に準じ、関係条例を一部改正しようとするもの

令和7年度奥州市一般会計補正予算（第9号）

「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」事業について、追加実施を行う事業及び住民税非課税世帯等の生活困窮世帯に対し、冬期間の経済負担の軽減を図る事業に予算措置を行うとともに、給与改定に伴う一般職の職員などの給料、職員手当などに所要の措置をするもの


令和7年度奥州市病院事業会計補正予算（第5号）

職員の給与改定に伴い、給料、職員手当等に所要の措置をするもの



ここが聞きたい!

一般質問

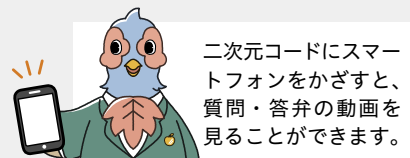
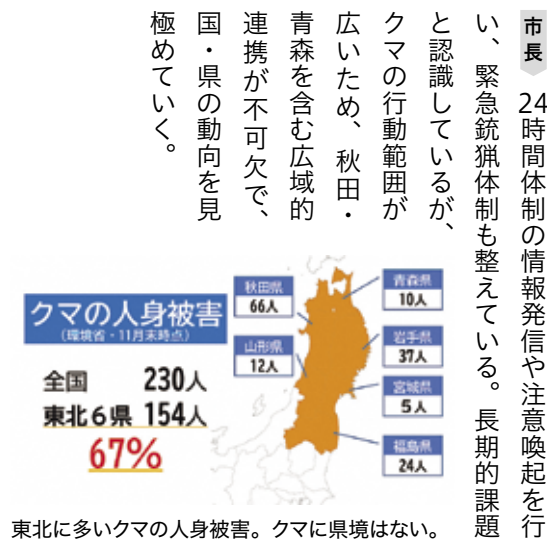


今定例会の一般質問は、19人の議員が登壇しました。質問、答弁の要旨を掲載します。(文責は質問議員)

預かり等も検討する。オストメイト専用災害トイレを来年度に、5基準備する。基準単価は今後検討する。



オストメイトの皆さんの災害備蓄ストーマ装具



質問議員

令和7年12月 定例会

阿部加代子／公明党	9P	千葉 敦／日本共産党	12P
高橋 浩／奥和会	9P	小野 優／新奥会	13P
菅原 明／日本共産党	10P	佐藤 正典／奥州ノート	13P
中西 秀俊／奥和会	10P	瀬川 貞清／日本共産党	13P
高橋 晋／新奥会	10P	菅野 至／奥州みらい	14P
佐藤 美雪／日本共産党	11P	千葉 康弘／奥州みらい	14P
加藤 清／無会派	11P	及川 佐／奥州みらい	14P
穴戸 直美／奥州ノート	11P	今野 裕文／日本共産党	15P
飯坂 一也／公明党	12P	廣野 富男／奥州みらい	15P
門脇 芳裕／奥和会	12P		

※1 スクールソーシャルワーカーの活用を

質問 子どもたちを取り巻く環境は複雑化している。問題の解決に向けて支援する専門家であるスクールソーシャルワーカーの増員が必要である。

市長 県から市へ1名のスクールソーシャルワーカーが配置されている。増員は難しい。

※1 スクールソーシャルワーカーの活用を



あべ かよこ
公明党 議員



クマ対策で住民の安全確保を

質問 クマ出没が続く中、安全安心をどのように守るのか。対策は長期的対応が必要であると考えるが、専門部署設置の考えについて伺う。

市長 24時間体制の情報発信や注意喚起を行い、緊急銃猟体制も整えている。長期的課題と認識しているが、クマの行動範囲が広いため、秋田・青森を含む広域的連携が不可欠で、国・県の動向を見極めていく。

国土強靱化に向けた路網整備を



たかはし ひろし
奥和会 議員



議員の賛否公表

採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。これ以外の議案等は全会一致で可決等されています。

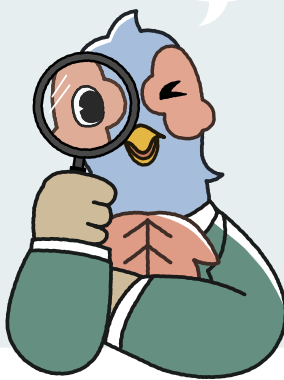
※公＝公明党、奥ノ＝奥州ノート、無＝無会派
※議長は採決に加わりません。

採決結果一覧表 賛成＝○ 反対＝×

第4回12月定例会	議席 会派	4	6	8	11	13	14	23	26	3	7	15	18	19	25	1	16	17	24	27	9	10	12	20	22	2	5	28	21	採決結果		
	氏名	奥和会								奥州みらい					日本共産党				新奥会		公	奥ノ		無								
		門脇芳裕	高橋善行	東隆司	千葉和彦	小野寺満	高橋浩	中西秀俊	藤田慶則	菅野至	佐々木友美子	千葉康弘	廣野富男	及川佐重	佐藤美雪	瀬川貞清	千葉敦明	今野裕文	小野優	及川春樹	高橋晋	飯坂一也	阿部加代子	穴戸直美	佐藤正典	加藤清	菅原由和					
	議案																															
	議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	可決
	議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	可決
	議案第6号	○	○			○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	可決
	議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	可決
	議案第19号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○		○	可決
	議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○		○	可決

議案番号	案件名	QRコード
議案第3号	奥州市営浄化槽条例の一部改正について	議案第3号、第5号
議案第5号	奥州市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	議案第6号
議案第6号	俳句の庵条例の廃止について	議案第17号
議案第17号	令和7年度奥州市病院事業会計補正予算(第4号)	議案第19号
議案第19号	令和7年度奥州市一般会計補正予算(第9号)	議案第25号
議案第25号	令和7年度奥州市病院事業会計補正予算(第5号)	

ホームページはこちらから



奥州市議会では、令和4年に執行された市議会議員選挙において無投票当選が生じたことを受け、議員のなり手不足を議会運営上の重要な課題として捉え、その要因及び対応策について検討を行ってきました。これまでの検討経過をまとめた報告書を、ホームページに公開しましたのでお知らせします。議員定数及び議員報酬の在り方については、今後も検討を継続していきます。

議員のなり手不足
対策に関する
検討経過報告書を
公開しました



菅原 明 議員
すがわら あきひろ
日本共産党



就学援助制度の徹底を

質問 就学援助制度を対象以外の保護者にも知ってもらい、申請につながる取り組みが必要と考えるが何う。

教育長 小学一年生の全世帯には入学前の就学時健診の際に制度の説明と申請書の配布をしている。また、児童生徒には毎年11月に全ての世帯に通知している。引き続き、保護者への周知徹底に取り組んでいく。

水田畦畔除草への支援を

質問 離農者が増え、「担い手」と言われる規模の大きい農家に農地を預ける動きが加速している。「担い手」が地元の地域住民に草刈り作業を委託した場合の費用に対する支援策について何う。

市長 除草作業の労力を軽減するラジコン草刈り機などのスマート農業機械の導入に当たり、国や県の補助事業を活用するとともに、今年度から実施している市独自の導入支援事業を通じ、担い手支援に努める。



規模拡大するほど担い手の草刈り負担も増加（新潟県津南町資料より）



佐藤 美雪 議員
さとう みゆき
日本共産党



統廃合ありきではなく保護者の視点で

質問 前沢、胆沢地域の教育・保育施設の統廃合方針に保護者や地域住民から「議論の余地がなく拙速な判断だ」という声が聞かれる。十分な議論の時間が必要では。

市長 保護者や地域への説明会の開催と教育・保育の専門的見地からの意見を受け、判断したもので拙速ではないと考える。急激な少子化に伴う課題に対応するためであった。
質問 前沢保育所の統廃合は誰のため、何のために何うのか。

市長 定員が余剰になることから民間保育施設との競合は避け、経営を安定させることが結果的に子どもたちへの良い保育の提供につながると思う。

心とからだの性の不一致等の悩みへ対応を

質問 対面では難しい相談にはSNSなど、相談しやすい体制づくりが必要ではないか。
教育長 関係部署と連携しながら検討していきたい。



子どもたちが自分らしく過ごせる学校の環境づくりを



中西 秀俊 議員
なかにし ひでとし
奥和会



現道舗装の予算を確保して推進を

質問 未舗装区間の整備計画や補修のための予算獲得と計画の見直しの考えは。

市長 市は引き続き舗装を進め、市民の満足度向上を目指す。しかし、限られた財源の中での実施となり、優先順位の見直しは令和9年度以降に検討して行く。

自治会等が行う空き家対策への支援を

質問 自治会や地域住民が自ら行う空き家対策への支援を。

市長 令和8年度に空家等対策計画を見直し支援体制強化を含め次期計画で対応する考え。地域住民と空き家所有者をつなぐ役割を市が担い支援することは可能と考え、今後相談に応じていく。


未来に誇れる奥州きらめきマラソン大会へ

質問 持続可能なマラソン大会を目指した取り組みを。

市長 高温化や交通渋滞対策を講じランナーと市民への影響を最小限に抑えるためにコンパクト化に取り組む。



持続可能な大会運営を



加藤 清 議員
かとう きよ
無党派



農業振興についての後継者対策は

質問 農業振興を図る上で後継者対策は重要である。政策の具現化を図るため、基金を創設すべきと思うが、その考えについて何う。

市長 農業を取り巻く環境は厳しい状況と捉えている。新規就農者確保に向け国の事業支援を受け、担い手発掘につなげていく。基金創設についてはJAや関係機関と連携し国・県の財源を活用し取り組みを進めていく。

医師公舎の現状と活用方針は

質問 活用されていない医師公舎の実態と今後の対応策について何う。

病院事業管理者 医師が入居している公舎は7戸、入居可能な空き公舎は13戸、老朽化又は他の用途で使用しているものは合わせて9戸である。未利用の公舎については効果的活用に向け検討を進める。



未利用の医師公舎。有効活用に向けた検討を



高橋 晋 議員
たかはし すすむ
新興会



※2 バス交通計画の進捗と地域交通施策は

質問 江刺地域の移動手段確保の現状と課題は何か。

市長 タクシー事業者撤退後の公共交通サービスの利用困難がある。代替サービスの検討や次世代モビリティの調査研究も続ける。

※2 Suicaの設置普及状況と今後の展開について、特に鉄道との連携はどうか。

市長 交通系ICカードはほとんどのバス路線で利用可能。鉄道駅へのシステム導入は、JR東日本へ今後も拡大を強く働きかける。

岩谷堂高校の総合学科の特色への理解を

質問 市の見解と県への働きかけは。また、市内中学校での総合学科の理解が不十分では。

市長 2系列募集停止には課題がある。地域検討会議などで、市の考えを訴えていく。

教育長 中学校の進路指導では、総合学科の理解に限りがある。生徒が各高校の特色を理解できる機会が増えるよう働きかけていく。



特色を生かした岩谷堂高校オリジナル商品の数々



六戸 直美 議員
ししど なおみ
奥州ノート



新医療センター整備計画の透明性は

質問 建設費の返済期間は30年であるのに対し、示されたのは10年間の収支のみである。累積赤字や財政調整基金への影響が不透明である。また、2月上旬予定の設計契約については、民意を反映した設計になるよう、次期市長選後に締結すべきでは。

市長 10年間の資金維持ができれば、その後の経営手法などを検討できることから、持続可能と考える。また救急医療やへき地医療などの不採算部門を担いつつ、これまで説明したとおり計画を進めていく。

※3 これからの学校教育の在り方は

質問 次期学習指導要領改訂に向けた不登校やいじめへの支援と多様な学びへ体制強化を。

教育長 子どもの活動を広げる多様な居場所づくりの支援と次期計画での反映を検討する。



次期学習指導要領に向けた考え方



※3 学習指導要領改訂

全国どここの学校でも一定の水準が保たれるよう、文部科学省が定めている教育課程の基準について、社会の変化を見据え、およそ10年に1度の改訂がされている。次の改訂内容は令和9年度に告示され、小学校では令和12年度から実施される見込み。



※2 バス交通計画

奥州市地域公共交通計画のこと。地域の実情や市民ニーズを踏まえたうえで、住民・交通事業者・行政が一体となって持続可能な公共交通ネットワークを構築するため令和6年3月に第4次奥州市バス交通計画が策定された。



飯坂 一也 議員
公明党



自治体情報システムに対する迅速な対応を

質問 自治体情報システムの標準化・共通化に向けた取り組みの進捗は。

市長 システムを開発する事業者側の人的リソース（資源）の逼迫から、令和11年度までずれ込む見込みである。

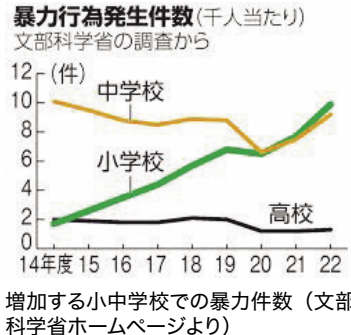
質問 市の財政への影響について伺う。

市長 国においては必要な財政支援を行うこととしている。該当する補助金の活用をしていく。また事業者からの見積額の精査も行っていく。

「チーム学校」の体制づくりを

質問 全国的に小中学校での暴力行為の発生件数が増加している。安全安心な教育環境のための学校を支える体制について伺う。

教育長 学校を中心にケース会議を開催し、必要な機関が組織的に対応している。




小野 優 議員
新興会



計画的な林道整備を

質問 防災や観光などの視点も加えて、計画的に整備していくべきだと考えるが。

市長 ほとんどの路線で消防車両の通行が難しいと認識している。森林整備計画の5年ごとの見直しの中で、財政状況も勘案しながら、林道の整備についても検討していく。

固定資産税の軽減制度を導入しては

質問 空き家対策として更地化後の固定資産税の軽減や、住宅用地特例を延長するなどの仕組みを導入している自治体が出てきている。立地適正化計画における区域誘導施策としても有効だと思われる、その観点からも導入すべきでは。

市長 次期空家等対策計画を策定していく中で検討していく。
(他に指定管理についても質問)



解体費用と納め続ける固定資産税を計算することが大事



門脇 芳裕 議員
奥和会



これからの農業振興に向けて

質問 農地貸借契約について伺う。

農業委員会会長 今年度より農地中間管理事業と農地法第3条のどちらかとなった。貸借総計は約236畝で利用率は農地法第3条を1とすると対比は5.6となっている。

質問 WCS（ホールクロップサイレージ）の刈り倒しの判断基準は。

市長 東北農政局の指導では、糊熟期から黄熟期とされており生産者には申請手続きの際にお知らせをしている。早期刈り倒しは青刈り対応への移行となるので、適期の作業をお願いしている。

質問 節水型乾田直播の実績と問題点は。

市長 先進的農作物等導入支援事業により43㌦の圃場に肥料や農薬等の経費を支援したが、慣行栽培に比べ約3割の減収となった。問題点は雑草対策と高額な専用機械の導入費である。令和8年度も本事業を継続する。



乾田直播用播種機



佐藤 正典 議員
奥州ノート



特別職公用車に制限を設けるべき

質問 マッサージ機能など過度な装備付車種は、特別職の信用信頼を落とすことになる。基準を設けるべき。

市長 ガイドラインを設ける。教育長車が来年度、更新時期を迎えることから来年度上半期の策定を予定している。

庁舎内が政治活動の場になっていないか

質問 庁舎内で政党機関紙の勧誘、集金、配達が行われていることは全国的な問題。また政党団体による管理職を対象とした年始の挨拶回りの慣習は中立性を歪める。機密情報のある執務室に許可なく議員が入って良いのか。

市長 市役所では政党機関紙と一般紙は同等に扱っている。また、許可なく議員が執務室に入るような認識はない。
(その他、オーガニックビレッジ宣言について質問)



使用の在り方が問われた庁舎内の文書棚



千葉 敦 議員
日本共産党



中小企業振興条例が必要では

質問 中小企業が地域の皆さんのニーズに込め、事業が継続して、地域経済の持続的発展を支えるためにも中小企業振興条例が必要では。

市長 中小企業の役割は重要ではあるが、7年目を迎えた企業支援室による企業の経営基盤強化に資する施策に取り組んでいく。

マラソンコース見直しの地域への説明を

質問 フルマラソン継続のため、新コースが導入されるが、新たにコースとなる地域の不安、懸念への対応は。

市長 該当する地区振興会の振興会だよりに道路規制の内容を載せる他、行政区や自治会単位での説明会を検討していく。



新コースとなる江刺愛宕の北上川堤防



瀬川 貞清 議員
日本共産党



高すぎる国保税の引き下げを

質問 財政調整基金を取り崩して国保税を引き下げる考えはないか伺う。

市長 国保税水準の完全統一を目指す過程において納付金ベースの統一が今年度から始まっている。被保険者の減少により国保税収入は減少する見込みであり、今後収支不足が拡大していく現状では、基金を活用しての税率引き下げは難しいと判断している。

質問 子どもの均等割の減免制度を創設する考えはないか伺う。

市長 国が責任をもって制度化すべき施策と考える。引き続き全国市長会を通じて国に要望していく。新聞等によれば、国は、高校生までの対象拡大を令和9年4月の実施を目指して検討しているとのことである。



子育て世帯の国保税の負担軽減を

用語解説

※5 住宅用地特例

固定資産税では住宅の敷地として利用されている土地（住宅用地）の税負担を軽減するため、面積に応じた特例措置が適用される。空き家を解体撤去するとこの特例は受けられなくなり、通常の税額に戻る。

用語解説

※4 慣行栽培米

地域での一般的な栽培方法により、法令等の基準に沿って農業や化学肥料を適切に使用し生産された標準的なコメのこと。農業等が慣行栽培米に対して50%以下の水準になると特別栽培米に該当する。





菅野 至 議員
かんの いたる
奥州みらい



公共施設の管理方法とその見通しは

質問 老朽化が進む公共施設の維持管理の課題と包括的業務委託について伺う。

市長 維持更新費用の増大・財源不足・技術職員不足・契約事務の負担増といった課題がある。また、包括管理業務委託については、管理水準の平準化、予防保全への転換が期待できる一方、所管課の当事者意識の希薄化やマネジメント経費を含めたトータルコストの増、職員技術の継承といった課題がある。

市が抱える農業の課題への対応と見通しは

質問 農業現場で山積している課題について、単年の、長期的課題をどのように捉えているか伺う。また、解決の取り組みと、その実効性について伺う。

市長 「奥州市農業の未来をかける議員の会」と関係機関との意見交換会で、短期的な課題と、中長期的な課題を整理している。その内容を受けて、来年度は高温対策や事業継承などの行政支援をしていく予定である。



夏場の高温対策として遮光剤を散布する様子



千葉 康弘 議員
ちば やすひろ
奥州みらい



公共施設等に係る借地の状況の見える化を

質問 財政健全化、スリム化に向け市の借地、借地料の現状と今後の方針を示すべき。

市長 施設毎に必要な借地を確保している。施設によって借地契約の経緯がそれぞれ異なるため、全庁統一の管理方針を決めるべきものではなく、方針を示す必要はないものと考えている。

市内高校の魅力化を

質問 約3割の生徒が市外の高校へ進学しているとのことだが、市内の高校魅力化への支援や前沢高校のいわて留学への支援は、地域の活性化や小規模校への地域応援として大切では。

市長 市内各高校それぞれの特色ある取り組みに市として最大限対応したい。また、前沢高校のいわて留学は、県外からの生徒の下宿、生活環境整備に行政のサポートが必要と考える。



期待される前沢高校のいわて留学



及川 佐 議員
おいかわ たすく
奥州みらい



危険空き家対策と市の体制強化を

質問 行政代執行の進捗、補助金制度、情報公開、体制強化に加え、空家等管理支援法人設立を計画に段階的に明記すべきではないか。

市長 令和6年度に1件を代執行し、補助金制度は次期計画で見直す。実績公開を進め、令和8～9年度に体制強化を検討する。管理支援法人の必要性も認識しており、調査を行い関係機関と連携し検討する。

病院経営強化プランは実行可能か

質問 経営強化プランの多くの指標が未達成で、医師退職だけが要因とは言いい切れない。赤字下で目標達成は可能か。収益改善策の実行性と、在宅医療低迷が地域包括ケアに与える影響を問う。

病院事業管理者 主因は医師退職だが、病床機能の見直しや専門診療、地域連携パスの強化で改善を図る。目標達成は確約できないが、医師確保と制度改正を踏まえ努力する。在宅医療は新任医師により訪問診療を強化する。



赤字拡大下での目標達成への懸念



今野 裕文 議員
こんの ひろふみ
日本共産党



非課税世帯等や医療・介護施設への支援は

質問 福祉灯油の実施と医療・介護施設等への物価高騰対策支援について考え方を伺う。

市長 福祉灯油は1世帯7千円の補助で準備する。介護施設は電気料・燃料費の支援を準備している。医療機関は県の制度を注視し、市立医療機関だけが支援から外れることのないようにしたい。


クマ出没の多発に対する対策は

質問 広報車などアナログでの情報提供ができる体制、クマの「捕獲」から「駆除」への体制、そして、河川敷の整備でクマの通り道をなくすことについての考えを伺う。


市長 的確な情報提供を整備し、捕獲は県の管理計画により実施しており、捕獲後は放獣が原則である。河川敷等の伐木は県・国の財政支援を受け取り組むべきと考えている。



クマ出没への対策強化を



廣野 富男 議員
ひろの とみお
奥州みらい



2040年に向けた介護人材の確保を

質問 人口減少と超高齢化社会に向けた戦略的介護人材の確保策は。

市長 これまでの支援事業をはじめ、外国人介護人材受入支援や介護ロボット・ICT導入支援など今年中に市内事業所に対しアンケート調査し、ニーズの把握に努め有効な支援に取り組みたい。

クマによる人身被害者支援を

質問 クマによる人身被害者に対し秋田県北秋田市などでは市独自の見舞金制度を創設し被害者支援をしている。本市でも被害者に寄り添った支援をすべきではないか。

市長 これまで人身被害が発生した際に、被害確認、誘引物の状況把握など再発防止への対処を最優先してきたため被害者支援の議論はなかった。昨今の状況を踏まえ市長会を通じて環境大臣に被害者支援の検討を要望した。今後、被害者への精神的ケアをはじめ、提案のあった見舞金制度の創設を含め県と検討したい。



被害者に寄り添った支援の検討を



議長 豊原 由和

【お詫びと訂正】

おうしゅう市議会だより第78号の掲載記事に誤りがありました

おうしゅう市議会だより第78号、15ページ記載の今野裕文議員の一般質問記事のうち、イラスト下部の説明文に誤りがありました。子どもが生まれた場合の国保税均等割の加算額を34,200円加算と掲載しましたが、正しくは13,800円加算となります。お詫びするとともに、訂正してお知らせいたします。

※6 いわて留学

岩手県外から岩手県立高校への進学機会を広げる取り組みのこと。「学校と地域が連携する体制が整っている」、「入学後の居住環境について紹介できる体制が整っている」などの要件に該当する「地域ふるさと振興校」として、令和8年度は市内では前沢高校がその対象となっている。

